

評価概要

1. 評価対象事業80事業のうち、今回の評価により、18年度予算要求に向け、事業の廃止、改善、予算削減等見直す必要があることが判明した事業は、目標達成したもの及び未達成のものを含め、合計で33事業（全体の41.3%）であった。

なお、このほか、廃止又は見直す必要があったが、既に廃止又は見直した事業は、9事業（全体の11.3%）であった。

2. 評価類型

(1) 目標達成したもの（62事業、全体の77.5%）

- ① 目標達成、一定の効果が上がっており、引き続き適切に執行すべきもの；38事業
- ② 目標達成するも、より効果的な施策とする観点等から見直す必要のあるもの；2事業
- ③ 目標達成するも、実績にかんがみ適正な予算要求額とする必要のあるもの；9事業
- ④ 目標達成するも、事業執行率が低い。適正な予算要求額とし、必要に応じ事業の在り方について見直すもの；9事業
- ⑤ ②、③又は④と同様の評価だが、既に17年度から事業内容の変更等したもの；4事業

(2) 目標未達成のもの（18事業、全体の22.5%）

- ① 目標未達成。事業の廃止又は抜本的な見直しが必要なもの；7事業
- ② 目標未達成。事業執行率も低いため、事業の抜本的な見直し又は廃止が必要なもの；6事業
- ③ ①又は②と同様の評価だが、既に17年度から事業内容の変更等したもの；5事業

3. 17年度目標の改定

- ① 目標を追加したもの；2事業
- ② 16年度実績に応じて水準を上げたもの；7事業
- ③ 複数年度にわたる目標を年度別の目標としたもの；3事業